

令和元年6月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の令和元年6月の有効求人倍率(季節調整値)は1.80倍となり、前月より0.02ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.71倍となり、前月より0.21ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 6月の新規求人数(季節調整値)は前月比6.4%減となり、有効求人数(同)は前月比0.6%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比0.6%増となり、有効求職者数(同)は前月比1.8%増となった。
- 6月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると3.5%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比10.0%増)、製造業(同6.5%減)、情報通信業(同6.3%減)、運輸業、郵便業(同7.1%減)、卸売業、小売業(同7.5%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同9.3%減)、宿泊業、飲食サービス業(同1.6%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同5.0%減)、教育、学習支援業(同1.9%増)、医療、福祉(同2.2%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同4.9%減)となった。

